儀間のウンブガー

仲宗根徳真(1905·M38)字儀間(00:35)

がらく ちゅく はじ 部落ぬ 造 ってい始まいや、うぬカーから始またんでいちゃぬちむ。

それで、うぬカー始またぐとう、うれーゥンブガー ち 付きたるばー、カーぬ始まいてー。まじ、言えば、こ ぶらく ぎま ゆー はじ の部落では儀間のその世の始まいですね。

あんとう、うぬカーから始まてい、あんさ、うぬカーや一番なたぐとう、生まりーぬうっさーむる其処ぬ水飲どーんちゃん。あんさーまかに、うぬ水え今ちきてい拝どーるばーてー。水ぬ恩を拝んでいるわけですよ。

しだい ゅ なか ひら あんとう、うりから次第に世ぬ中ぬ開きていいち ゅしんでー、人ぬ多くないしんでー、あぬだーカーや っんま でぃき くま でぃき 其処んかいん出来、此処んかいん出来し、さしが。

【共通語訳】

儀間の始まりは、その井泉から始まったということ だよ。

それは初めて出来た井泉ということで、ゥンブガー (産井泉) とつけたわけだ。まあ、言えば、これが儀間部落の始まりですね。

だから、その井泉が最初に出来たので、この儀間で生まれた人は全員そこの水を飲んで育ったということ。それで、水への感謝を表わす意味で産井泉を拝んでいるわけですよ。

それから、次第に世の中が発展していくにつれて、 人も多くなり、あちらこちらの家で掘り抜き井戸が作 られたんだ。